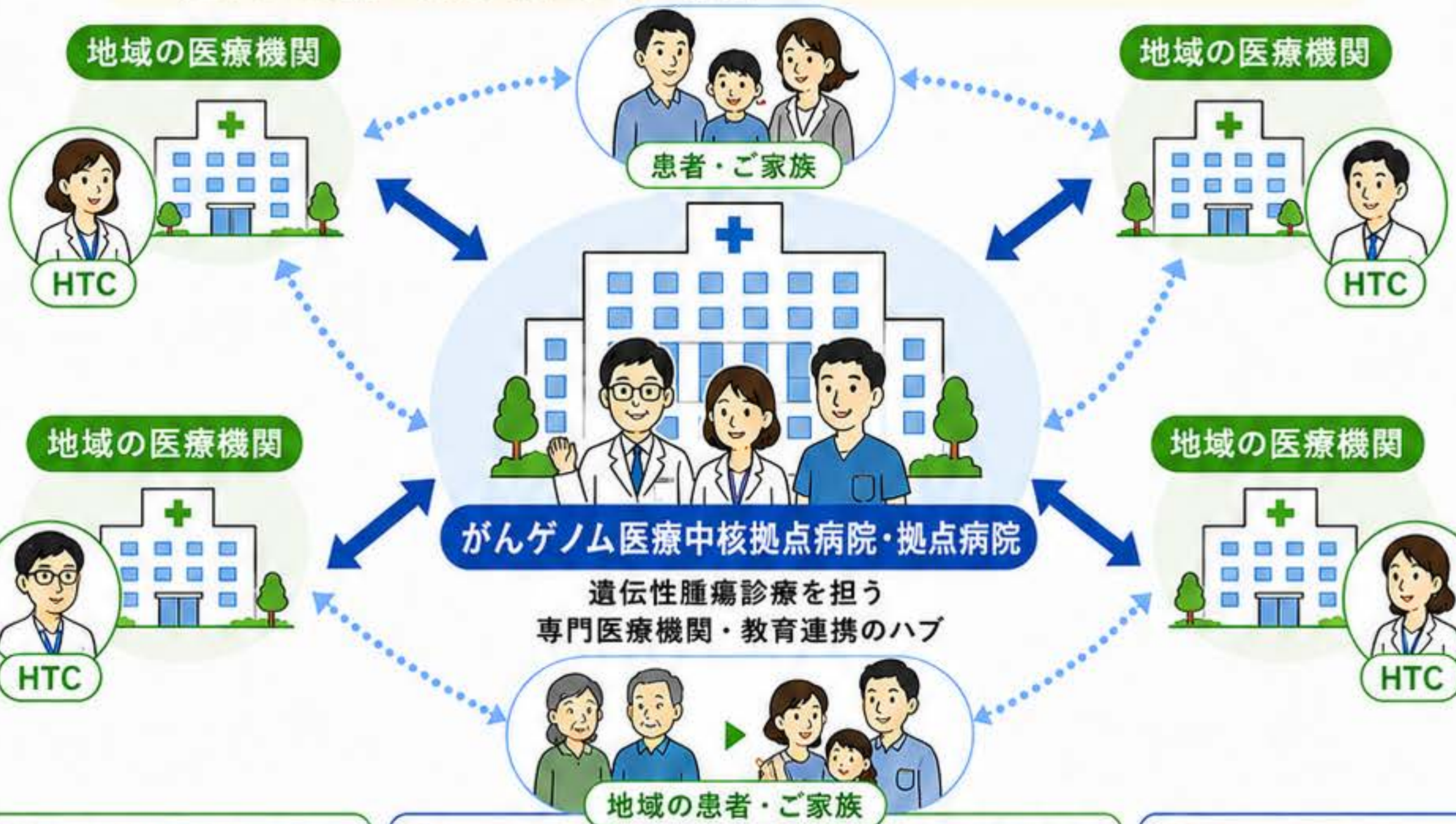
地域に遺伝性腫瘍コーディネーター(HTC)を広げると、
Hereditary Tumor Coordinator
遺伝性腫瘍診療はどう変わる？

―― がんゲノム医療中核拠点病院・拠点病院／地域連携担当向け ――

遺伝性腫瘍コーディネーター(HTC: Hereditary Tumor Coordinator)は、
遺伝性腫瘍が疑われる**患者および血縁者を見いだし、適切な専門診療につなぎ、**
院内外の**連携や継続支援**を担う医療職です。



1 地域の医療機関で見いだす



- 家族歴・背景情報を整理
- 遺伝性腫瘍が疑われる患者・血縁者を見いだす

2 専門医療機関へつなぐ



- 紹介時の情報共有がスムーズ
- 遺伝性腫瘍専門医・臨床遺伝専門医・認定遺伝カウンセラー等と連携

3 地域に戻って支える



- 逆紹介後も継続支援
- サーベイランスや理解支援を継続

4 地域全体に広がる



- 連携会議で制度を共有
- 地域全体の均てん化につながる

地域にHTCを広げるため、中核拠点病院・拠点病院等にご協力いただきたいこと

1 地域の医療機関の候補者を推薦する



職種・経験に応じて
HTC候補者を見つけて推薦

2 地域連携会議で周知する



地域連携会議・研修会で
制度や役割を周知

3 地域の医療機関におけるHTC候補者の育成/ネットワークづくりを支援する



各医療機関にHTCを配置し、
ネットワークを強化

遺伝性腫瘍コーディネーター(HTC)は、
専門職の代替ではなく、
地域の患者・家族と
専門医療をつなぐ
ハブ人材です。

日本遺伝性腫瘍学会　HTC/FTC制度小委員会